

(別記様式第3号)

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博(医)甲第1180号	氏名	片山 明香
論文審査担当者		主査教授	永安 武
		副査教授	田口 尚
		副査教授	下川 功
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、癌遺伝子である Ets-1 のヒト乳癌における組織学的進行度と発育様式による発現について検討し、Ets-1 の乳癌の分化、増殖、浸潤過程における役割を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 本研究では原発性乳癌 137 例を対象に、ヒト Ets-1 抗体を用いた免疫組織化学染色と組織学的分類 (TNM 分類、Bloom-Richardson grading system) とを比較検討すると同時に、In situ hybridization と RT-PCR を用いて Ets-1 mRNA の発現確認を行っており、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、全乳癌症例中、83.2%で Ets-1 の発現を認め、浸潤性乳管癌では Bloom-Richardson grading との間に相関関係を認めた。さらに、In situ hybridization と RT-PCR において乳癌細胞の Ets-1 mRNA 発現が確認された。このことより、Ets-1 が乳癌細胞の進展と悪性度に重要な役割を果たしていることが示唆された。</p> <p>以上のように本論文は乳癌の悪性度判定の新たな因子の解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと。